

# さくら

題字 足立区長

## 足立区民生・児童委員協議会だより

発行

足立区民生・児童委員協議会  
連合会長 中田 貢弘  
編集 広報部会  
発行日 2005年7月1日  
〒120-8510  
足立区中央本町1-17-1



・花畑西小 2年 菊地陽花子

### 目次

心の健康フェスタ	2
東京都福祉保健局	3
民生児童委員連絡会	
合同地区だより	4
介護ってなあに	6
子育て応援団	7
民児協便り	8
編集後記	

### スタートにあたって

足立区民生・児童委員協議会会長 中田 貢弘

今年は、乙酉（きのととり）明治以降3度目、60年に一度の年であり、この前は昭和20年（1945）終戦の年であり、この節目の年には重大な事柄が起きている。今年も、海洋アジア諸国を襲った大津波、民族紛争、領土問題、貧困等々人類の取り組む課題が山積しています。不肖私も昨年12月より今年2月半ばまで入院し、関係各位のご支援により社会復帰することができました。その間中村職務代理を初めとした各委員の方がたにも、多大なるご心配ご迷惑をおかけした事お詫び申し上げます。この静養期間のおかげで物事を冷静に見る機会をつくれました。それは頭で無く感覚で学ぶ「心路」（すし）であります。「歴史は心の柱」と言われますが、これが引きちぎられると、人間が人間らしい生き方が

できなくなるのです。家族を始めとする各種の共同体が、個人尊重を大事にするあまり無理解が見られるようになってきました。今こそ「おむすび」です。「手」手を煩わす、手さぐり、手塩にかける。母と子を結ぶ愛情、夫と妻を結ぶ愛。もう一度「手」を取り戻したいものです。この3年間4つのFを基本としていく所存です。(1) Family（家族）(2) Failure（失敗）(3) Futuer（未来）(4) Foundation（土台）過去の失敗を反省し、家族とどう向き合い、安心して老いていける土台作りをしたいと思います。民生児童委員の方がたは、重要な役割をもっています。行政機関と協働でよい足立区作りにご尽力下さることを願ってご挨拶いたします。





# 心の健康フェスティバル

3月12日、第9回「足立区こころの健康フェスティバル〈heart to heart つなげよう 心のかけはし〉」が足立区役所1階アトリウム、2階庁舎ホール、正面広場などで行われました。1階アトリウムでは精神または身体に障害をもつ方がたの作品展と即売会、どれも素晴らしい作品でした。これからの活躍を願っております。民児協は1階の奥に社会福祉協議会への寄付を目的に昨年同様バザーを行い、300円から1,000円までの物を500点以上出品し、入場制限をする程の大盛況でした。特に1,000円の品物には良い物が多く、多数の方がたに大変喜ばれました。2階庁舎ホールでは、鈴木足



立区長、中田実行委員長の挨拶があり、音楽療法、演劇、休憩をはさんで町沢静夫精神科医（町沢メンタルクリニック院長）の「心の病ってなあに」という特別講演があり〈うつ病とその治療〉について話がありました。内臓の病気は科学的に診断し治療できるが、うつ病は外見は健常者と変わらないので周りの人が言動によく注意し、初期段階での心のケアが重要だと思いました。心がゆたかで人の気持ちがわかる人ほどうつ病になりやすいと結んでおられました。最後に中田実行委員長をはじめ参加45団体の役員の皆様たいへんお疲れ様でした。



(8地区 田中榮一 記)

## 家庭倫理フォーラム

家庭円満のヒント 今日から家族全員が円満になる



4月3日、西新井文化ホールに於て「家庭円満のヒント 今日から家族全員が笑顔になる」と題して講演会が開催されました。倫理研究会丸山理事長の講演の後、パネルディスカッションに移りました。



「子どもは家庭の所有物ではなく、社会に還すものだから社会全体で育てていく」（足立区内藤教育長）「一期一会を大切に裏切らないを信条にしてきた」

（中田民生・児童委員協議会会長）「命と心を育てることが親の使命であり、やさしい眼差しで育児を」（油井教育委員）「ありがたいという言葉の大切さ」（丸山理事長）などが話されました。パネラーの方がたの人間味あふれる話に笑いあり涙ありの心に残る楽しいフォーラムでした。その後の第十一中学校吹奏楽部による演奏も会に華を添えるすばらしいものでした。

(4地区 大久保義子 記)

加平小  
村上潤熙  
3年



栗島小  
永田俊也  
4年



子ども達を見守っています

## みんせいがわらばん

平成13年度より、辰沼小学校「開かれた学校づくり協議会活動」の一環として、大学生による放課後学習教室が開設されました。この年、先生がたが夏休み学習教室を開いてくださったのがありがたく、私は、校長先生に当時のBBS会（現ちから）の会長さんを紹介、協議会でも学習のお手伝いができないか相談しました。その時、放課後学習教室終

了後の下校時安全確認が課題として残りました。それを解決したのが、民生・児童委員5名による協力（強力）プロジェクトチームです。学習中は子ども達を笑顔で見守り、終了後は校門まで見送り自宅方向への下校を確認します。子ども達との触れ合いが深まり、予想を超える成果が得られました。現在も脈々と続いています。（神明地区 堀井洋二 記）



# 東京都福祉保健局・民生児童委員連絡会



東京都 大塚副知事



大澤 都民連会長



内田 都議会議長



幸田 福祉保健局長



講師の皆様

去る4月15日、東京都と東京都民生児童委員会連絡会の共催で「福祉保健局・民生児童委員連絡会」が開催されました。文京区のシビックホールには都の各区市町村から集まった1634名の参加者でいっぱいでした。足立区からも89名の代表が出席しました。これは、都の予算及び重要施策などについて、委員の方がたに周知を図り、併せて理解と協力を得ようというものです。大塚敏郎東京都副知事、大澤義行東京都民生児童委員会連合会会長の挨拶のあと、内田茂東京都議会議長より、来賓のご挨拶をいただきました。次に「福祉・保健・医療施策の一体的・総合的な展開に向けて」と題して、幸田昭一福祉保健局長よりお話がありました。これは、昨年8月に発足した東京都福祉保健局（福祉局と保健局が統合された）の現況及び今後の展望を述べられたものでした。発足以来今日まで、児童相談所や保健所など専門機関の連携による児童虐待の早期発見と未然防止に向けた仕組みづくりへの着手や、健康づくりや疾病予防に対する取組みなど、質の高い福祉・保健・医療サービスを一体的総合的に提供してきたとのことでした。また、子ども・高齢者に対する虐待や青少年の非行が増加する中、地域社会と行政の架け橋である民生委員の役割の重要性も増し、大きな期待がかけられていると結ばれていました。その後、笠原保生活福祉局部長より「17年度福祉保健局予算及び重要施策の概要」について説明がありました。そのあと～児童虐待防止・すべての子どもたちに明るい笑顔を～「子どもたちの健やかな成長のために民生委員・児童委員の役割」というテーマで3人の発表者がそれぞれの立場から意見を述べられました。加藤芳三児童相談センター相談処遇課長より、児童相談所における児童虐待への取組みについて説明がありました。多くのお話の中でも特

に印象的であったのが「児童虐待への対応の基本姿勢として子どもの安全確保が最優先」とであるという点でした。当たり前のことながら、やはり子どもの安全が一番肝心なことなのであると再認識した次第です。次に、北区の主任児童委員の小澤浩子さんの発表がありました。「子どもたちが尊重される、ぬくもりのある社会をめざして」というテーマで、支援の実情と事例、またこれからの課題が語られました。最後に「法律家から見た最近の児童虐待」として、弁護士磯谷文明さんのお話を伺いました。虐待が非行や犯罪とも密接な関係があることや、宗教や医療の絡んだ難しいケースの相談が増えていることなどが話されました。

また民生・児童委員に期待される役割として、児童虐待の発見通告に関しては、常に身近に虐待があり得ることを念頭に置きつつ、アンテナを張り巡らせていることの必要性を訴えられていました。また、虐待にネットワークで対応するという点では、成功の秘訣を次のように述べておられました。

- 虐待の認識を共通のものとする。
- ネットワークの大切さを良く理解する。
- 成功例を共有する。
- そして思いやりが大切。

以上のようなことがらをなぞながらお話くださいました。「すべてのもとを成すのは『刺しても痛くないやり』です。『思いやり』をもって活動して下さい」という結びの言葉に会場は大いに沸きました。川尻禮郎東京都民生児童委員連合会副会長の閉会の挨拶で会は滞りなく終了しました。

民生・児童委員会活動の原点に立ち返り、また新たな意欲を喚起してくれた会でした（鹿浜地区 野辺陽子 記）

## みんせいかわらばん

六月中学校ボランティア部の「ふれあいいきいきサロン」が竹の塚・島根地区の民生委員と高齢者で開かれました。1回目は高齢者の若い頃の夢や戦争



中の話、2回目はクリスマスのケーキ作り、3回目は百人一首とお茶会、4回目がほうとう作りを行いま

した。学校へ行くと生徒のとてもよい挨拶で迎えられ、千葉先生のご指導で5～6人が1組になり、小麦粉をこね、野菜を洗ったり、切ったり、私たちはほんの少しの手伝いでした。どの班もとても上手に出来おいしく頂きました。毎回大変好評で参加者によるこぼれています。六月中学校ボランティア部と関係者の皆さん、社会福祉協議会の宮澤様本当にありがとうございました。

（11地区 塚越テイ子 記）



# 合 同 ・ 地 区 だ よ り

## 第五合同

中村 新一 会長

職務代理



## 障害者（児）地域サポートネットワーク発足

16年度より第五合同から順次合同ごとに連絡会を立ち上げる方針に従い、西部福祉地区連絡会が3月18日開催された。目的は障害者とその家族が地域の中で安心して生活していくためにサポートするシステムの構築等の検討です。そのメンバーとして江南・新田、鹿浜、13地区の会長、障害者部会の6名が参加。なお、連絡会の世話人を13地区・清

水委員、鹿浜・矢萩委員に依頼した。このほかメンバーは福祉事務所、障害者相談員、保健総合センター、障害者（児）施設、養護学校、小・中学校身障学級、権利擁護センター、こども支援センターなど。今後この連絡会が地域に根ざした活動ができるように、関係各位のご協力をお願い致したい。

## 第一合同

高野 恒幸 会長



今期改選において第一合同会長を引き受けし、その職責の重大さに身の引きしまる思いであります。ご承知の

ごとく民生・児童委員の活動範囲は、当初考えていたよりも広くかつ多く、委嘱を受けて初めて知った方も多いと思います。地域に生活する総ての人を対象にして、それぞれが健やかに安心して暮

らせる地域社会を作ることが民生・児童委員に要請されています。ちかごろ、子どもや高齢者に対する虐待が見聞され、その早期発見が問題解決の糸口といわれています。私たちの仕事も素早く対応し処理することが相談者の信頼を得る道かと思えます。皆様の協力とご支援を願うと共に、ますますのご活躍を期待いたします。

## 第二合同

関根 眞教 会長



以前は農村地帯であったこの地域も、今では各種住宅が混在する人口急増地域となりました。特に乳幼児人口が多いのが特徴のようです。したがってこの地域には子どものための施設がいろいろあります。こども家庭支援センターの子育てサロン綾瀬、昨年新設されたおおやた幼保園、母子生活支援施設あすなろ大谷田などです。今も昔も子育ては親にと

って大変な負担になります。最近、自転車の前後に幼児を乗せている若い母親を見かけると「子育て頑張って」と声をかけたくくなります。今わが国は少子化という深刻な問題に直面していますが、お母さん達が安心して子育てに専念できるよう、地域の人達が支援の手をさしのべることが必要かと思えます。

▲ 桜花小  
宮下 杏奈 4年



▲ 六木小  
林 香奈江 5年



## 綾瀬小学校・東綾瀬中学校合同避難訓練

日本の国土面積は世界の0.3%にすぎませんが世界中で起こる地震の20%が日本で起きています。いつ何処で大地震が発生するのか正確な予知が困難な現段階では、日頃からそれに対する心構えと対処法を考えておく必要があります。綾瀬小学校と東綾瀬中学校避難所運営会議では、区の防災計画に従い平成16年11



月3日、合同で避難所運営訓練を実施しました。起震車で震度7を、煙体験で煙の恐ろしさを実感しました。消防団、区民消火隊による放水訓練を見学した後、アルファ米五目と豚汁の試食をして解散しました。新潟中越地震の直後ということもあって、熱のこもった訓練になりました。（綾瀬一丁目 根本伸男 記）



## 第三合同

飯塚 純子 会長



私は現在まで当地において50年余り社会福祉事業を営んでおります。また第三合同の地域は荒川放水路の北、国道4号線をはさんで東西に広がっており、私が6地区、10地区、11地区の各会長とも緊密に連絡をとり、主任児童委員とも協力し合って、各地区の特色を生かす活動を続けております。特に6地区の五反野小学校は国から新しい教育の在り方を

試行するモデル校に指定され、地域の人々と共に児童達の育成に努めています。また高齢者の人達へは明るい声かけを行うよう心がけております。今後も第三合同の委員の皆様がたとともに力を合わせ、日々変わりゆく福祉施策を注視し、行政と協力して民生委員活動を進めてゆく所存でございます。

## 第六合同

高波 登利子 会長



### 第六合同の現況と責務

足立区の北東部に面する入谷、舎人、古千谷、伊興、竹の塚、保木間、六月町全域と西新井北西部を担当する民生・児童委員、主任児童委員91名は、愛と和の精神で、学校、町会、老人会、地区対、地少協と協働し研鑽し、児童、高齢者、障害者の介護、生活保護等の諸問題を、行政と手を取り合って繋ぐパイプ役

として地域で共助する所存です。私たちは、先人より心と物事を受け継ぎ、良いものにして、次の世代にそれをバトンタッチしたいと願い、温かいやさしい心で手を差し伸べることに努め、厳しい世の中で悩み苦しんでいる人々を助け、共に語り、共に歩む、地域福祉に活動している民生・児童委員、主任児童委員です。

## 第七合同

宮嶋 十三 会長



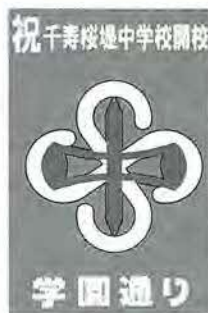
昨年の12月1日付けで、我々の地区に8名の新任民生・児童委員、主任児童委員が仲間入りしました。彼等はすでに3日間の新任研修を受講し、前任者との引き継ぎを終え、地区協議会や自主研修に出席しております。すでに5ヶ月が経過しましたが、新任者にとっては、やにわに特急列車に詰め込まれ、走り出し、ようやく駅に着き、ホッと一息ついたところではないかと思われます。これが今の流れ

の速い社会情勢なのかも知れません。すでに複雑な問題を抱え、試行錯誤している新任者に一言！問題解決は時と場合によりますが、急ぐと思わぬ落とし穴に陥る場合があります。相談の真意をよく聴き、深く理解するようにして下さい。泣いてもいいよ、笑ってもいいと思うよ。人間だもの。肩の力を抜いて社会のためお互いに「小さな正義」を捧げましょう。

## 足立区は活動記録 提出 100%達成を目指します！

## とびっくす

地域も新校を  
お祝いました



第二中学校と第十六中学校が統合され、新たに千寿桜堤中学校として開校しました。地域の方がたや区教育委員会と学校を含めた統合協議会を中心として、多くの方がたの暖かい力で今年度のスタートになりました。真新しい校舎と制服を着た生徒を見ると、心がうきうきする毎日を過ごしています。

本校はまだスタートしたばかりですが、生徒の頑張りを楽しみにしています。そして保護者・地域と協働して、千寿桜堤中学校の礎を築いていきたいと思ひます。ご支援ご協力をお願いいたします。

(千寿桜堤中学校副校長 関順子 記)



こんな状態になったら相談しましょう。

- ①家の周囲しか出歩かず、閉じこもることが多くなった。
- ②特に病院に行くほどではないが、横になっていたいと思うことが多くなった。
- ③物忘れが多くなり、頭を使うことが面倒になった。

上記の点が気になったら在宅介護支援センターや区の相談窓口「相談」に行ってみましょう。すべては、ここから始まります。

介護保険は、医療保健と違って、保険証だけでは利用できません。「要介護認定」を受ける必要があります。区の窓口・近くの在宅介護支援センターに申請するか、介護支援専門員（ケアマネージャー）に頼んで代わりに申請してもらう事もできます。

介護保険制度には、相談から各種のサービスまで必要なものが揃っており、サービスを提供する事業者も1つではありません。大切なことは「主役は自分」だと意識し、「便利」で「自分に向いていて」「質のよい」ものを選びましょう。

介護保険は「選んで」「利用する」ものだと考えてください。介護が必要な状態になってからの申請でも問題はありません。また、介護認定が出る前の暫定的な利用も可能ですが、想定していた介護度より実際に認定を受けた介護度が低く（要介護3で想定していたが、実際は2だった等）、区分支給限度基準額を超過してしまった場合は、超過分は10割自己負担（介護保険適用の場合は1割負担）となってしまう為、充分な注意が必要となってきます。

在宅介護支援センター入谷センター長 佐藤



### 事例

行動派の91歳の母は、病気知らずで老人会役員、旅行等を楽しんでいました。「心不全」で救急車のお世話になり、集中治療室に10日程入院、退院しました。すっかり生活が一変し、オムツに始まり、認知症でトイレの場所も忘れ、寝てばかり。24時間つきっきりの介護が2週間続きました。その後、主介護者の私が脳梗塞で倒れ、介護の申請は途中でストップしてしまいました。しかし、私は幸いにも2週間で退院することができ、ケアマネージャーのおかげで母の介護申請は無事終了しました。今ではデイサービスに週3回、メニューに筋力トレーニング、入浴介助を取り入れすっかり元気を取り戻し、お互いに余裕ができてきたところです。（広報委員 A）



花畑第一小 5年  
河本 夕佳

## 事務局紹介



▲福祉部福祉管理課

後列左より

笹林主任 久米係長 近藤主査 向山主任

前列 左 岡野参事（課長） 右 丸山福祉部長

## マナー講習会

障害者複合施設（あしすと）の所長より、「当施設を来年卒業する生徒達に、社会に出てから必要なマナーについて研修してもらえないか」との依頼がありました。女性委員8名が和服を着て、男性委員1名が背広で参加いたしました。16名の生徒を4班に分けて女性委員から作法についての挨拶の仕方、お茶の出し方など実演を行いました。男性委員は会社の立場や日常の仕事の作法や話し方などを教えました。日頃の職員のたゆまぬ訓練、教育の成果が見られ作法の一部でも習得できたのではないかと思います。民生委員として地域の人達に少しでも役に立つのではないかと思います。

（11地区 宮田壽美子 記）





### 子育てサロン事業について

このサロン事業は主に0歳から3歳未満のお子さんと子育て中の若い母親が親子でいつでも自由に遊べるフリースペースです。

毎年地区ごとに行われるケースワーカーとの懇談会において、話題になる子ども家庭支援センターに伺ってみました。ちょうど3月3日でしたので支援センターのロビーに飾られた段々飾りのお雛様が、よちよち歩きの子やベビーカーに乗った子を優しく迎えていました。二階のサロンでは、楽しそうに玩具遊びをする子、おもちゃの車

に乗る子、ハイハイする子、広いサロンでのびのび遊んでいました。

お母さん方も楽しそうに話に花を咲かせ、その様子を支援センターの職員の方とサポーターの方が見守っていました。

三階には食事ができるスペースも用意されていました。



サロンの職員の方は子育て相談員です。またサロンの子育てサポーターさんは60時間の養成講座を終えられた方々です

### ■このサロンを利用しているお母さん方に伺いました■

Q：このサロンを何処で知りましたか。 Q：このサロンの良さはどんなところですか。

A：・広報紙

・ホームページ

・お友達に聞いた

A：・みんな同じくらいの年齢で、大きい子がいないので安心して遊ばせられる。

・床が温かみがあってハイハイも安心

・交通の便がいい（コミュニティバスが乗り入れている）

私たち民生・児童委員は子育て中のお母さん方を見守り、応援をしていきたいと思っています。そのためには幅のあるアドバイスができるよう、知識を広げ個々の地域

での相談相手としていかなければと思っています。

（広報編集委員 塩田・北嶋・細井）

▶ 桜花小  
根本 恵 6年



◀ 六木小  
田邊 桃子 3年



### さくらニュース

好天に恵まれた3月27日、青少年対策竹の塚地区主催（淵江地少協共催）の第8回「歩け歩け大会」が催されました。教育研究所を出発して炎天寺、赤羽家長屋門、島根鷲神社、六甲中学、竹の塚彫刻の道を経て淵江小、大乘院、桜花亭と約8kmのコース。「あと少しだよ」と親子で励まし合いながら最終地点の西光寺へ無事に全員ゴール。用意さ

れていた広い敷物でケンチン汁や持参のお弁当でやっと一息。参加者は大人が120名、幼児・子供が32名でした。共催の役員の方がたの長年のご苦労と陰に陽にご協力下さっている多くの方がたに、同情と敬意を表して、ご報告させていただきます。お疲れさまでした。

（淵江地区 中浦君恵 記）

春過ぎつて夏来たりにけらし白妙の衣ほすてふ天の香具山  
持統天皇 新古今和歌集  
もう夏です、香具山あたりに白い衣を干していますから





## 民生・児童委員協議会からのお知らせ

日 程	会議名	場 所
7月 8日 (金)	会長協議会	12階会議室
8月 4日 (木)	会長協議会	東武菜苑
8月25日 (木)	全員研修 のこぎり演奏 第一中・第七中ソーラン節	西新井文化ホール
9月 9日 (金)	会長協議会	13階会議室
10月11日 (火)	会長協議会	13階会議室
10月16日 (日) ~31日 (月)	各合同宿泊研修	
11月11日 (金)	会長協議会	青年センター第一会議室

## と きの 話 題

### 音楽の盛んな花畑西小学校 金管バンド部の活動

花畑西小学校ブラスバンドは、平成2年に発足した4～6年生の有志で構成される金管バンドです。

7年前から校内で定期演奏会を行い、一昨年からTBSこども音楽コンクールに出場、今年初めて江戸川地区大会で最優秀賞を受賞、東京都代表として東日本大会にも出場を果たしました。一方、地域での演奏活動も盛んに行い、足立新生苑や足立ケアセンター、光の祭典などで演奏し好評を博しています。また、日頃の活動が認められ、2月には足立区教育委員会より児童・生徒褒章を受賞しました。今年度も新入部員を迎え、学校内外の演奏会やコンク



ールに参加いたします。来年3月26日(日)には、西新井のギャラクシティにおいて定期演奏会を行います。その他、様々な場で演奏を行う予定です。お聴き頂ければ幸いです。

(花畑西小学校 校長 牛山英一 記)

### 編集後記

民生・児童委員広報誌「さくら」を御愛読頂き心より感謝致します。年々増加傾向にある「保護世帯」「一人暮らしの高齢者」「子供への虐待」など、我々の抱える問題は山積しています。

今後とも皆様の活動の一翼を担え、更に楽しい紙面作りを目指し頑張る所存ですので、御指導御鞭撻の程宜しくお願い致します。

(広報部会部会長 平田幹明 記)

■皆様の原稿を募集致します。次回発行予定日 11月1日

紙面の都合がございますので、事前に地区広報委員にご相談ください。

■「さくら」に応募いただいた絵を区役所庁舎アトリウムに展示致します

期間=7月19日(火) PM:1:00~7月29日(金) PM:1:00

広報部会	部会長 平田 幹明	副部会長 高野 勝季	会計 宮本 勝男	須田 陽子	飯泉 節子	書記 大沢 稔	編集 細井 力造	校正 田中 榮一	編集委員 小菅 實	大久保 義子	松本 はな子	渡邊 正勝	大城 忠男	山崎 久勝	内藤 久子	川島 恵美子	加藤 喜代子	角田 千恵子	茂出 木幸子	野辺 陽子	森脇 久仁子	田中 千恵子	下田 尚保	塩田 博子	北嶋 昭夫